

# 北朝鮮による日本人拉致問題

## ◆拉致問題について

1970年代から1980年代にかけ、多くの日本人が不自然な形で行方不明となりました。日本の当局による捜査や、亡命北朝鮮工作員の証言により、これらの事件の多くは北朝鮮による拉致の疑いが濃厚であることが明らかになりました。

1991年以来、政府は、機会あるごとに北朝鮮に対して拉致問題を提起しましたが、北朝鮮側は頑なに否定し続けました。しかし、北朝鮮は、2002年9月の第1回日朝首脳会談において、ようやく初めて拉致を認め、謝罪し、再発防止を約束しました。同年10月には、5人の拉致被害者が24年ぶりに帰国しました。

日本政府は、これまでに、帰国した5名を含む17名を北朝鮮当局による拉致被害者として認定していますが、この他にも、日本国内における日本人以外（朝鮮籍）の拉致容疑事案や、いわゆる**特定失踪者**<sup>(※)</sup>も含め拉致の可能性を排除できない事案があります。

※特定失踪者とは、民間団体である「特定失踪者問題調査会」が独自に北朝鮮による拉致の可能性の調査の対象としている失踪者のことです。  
(茨城県関係者は裏面に掲載)

## ◆拉致問題の解決に向けた政府の方針

北朝鮮による拉致問題は我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる重大な問題であり、国の責任において解決すべき喫緊の重要課題である。

政府としては、拉致問題の解決なくして北朝鮮との国交正常化はあり得ないとの方針を堅持し、拉致被害者としての認定の有無にかかわらず、全ての拉致被害者の完全確保及び即時帰国のために全力を尽くす。また、拉致に関する真相究明、拉致実行犯の引渡しを引き続き追求していく。

(「拉致問題の解決に向けた方針と具体的施策」平成25年1月25日拉致問題対策本部決定)

## ◆あなたにもできること

家族を、人生を奪い去った北朝鮮による拉致。ある日突然連れ去られ、今も救出を待ち続けている…。それが、もしも自分だったら、自分の家族だったら。

拉致問題という問題があり、いまだに解決していないことを知ってください。拉致問題に関心を持ってください。それが、この問題の解決のために、とても大切な一歩となるのです。  
—拉致問題対策本部 HP より—

## 一人ひとりの関心・思いが拉致問題解決につながります

茨城県保健福祉部福祉指導課人権施策推進室

電話 029-301-3135 / FAX 029-301-6200

## ◆茨城県関連の特定失踪者の方々

特定失踪者問題調査会の独自調査によると、北朝鮮による拉致の可能性を排除できない失踪者として、茨城県内で失踪した、あるいは県内に住んでいた等、茨城県関連の特定失踪者は下記の方々がおられます。

### 根本 直美さん



失踪年月  
昭和 62 年 6 月 20 日  
失踪当時年齢  
15 歳  
失踪場所  
取手市内

テニス部の部活を終えて下校し、途中まで友達と一緒に帰り、午後 7 時頃その友達と別れて以後行方不明。友達と別れた交差点から自宅までの中間地点にある神社の近くで自転車と本人のバッグが見つかった。

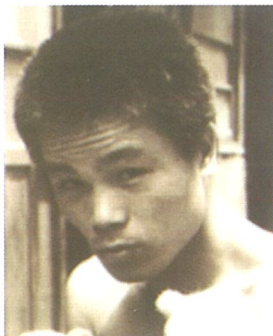
### 松井 綾子さん



失踪年月  
平成 10 年 12 月 3 日  
失踪当時年齢  
22 歳  
失踪場所  
水戸市内

12 月 3 日に勤務先へ「調子が悪いので休む」と電話し、翌日以降連絡なし。12 月 15 日に神栖市海浜公園多目的広場駐車場で自家用車を発見。運転席側のロックはされておらず、現金が入った財布が助手席に置かれた黒バックに残されていた。

### 小林 榮さん



失踪年月  
昭和 41 年 8 月 21 日  
失踪当時年齢  
23 歳  
失踪場所  
東京都内

数日間体調を崩し仕事を休んでおり、当時住み込みで働いていた会社へ「医者に行く」と言い残し外出したまま行方不明。失踪する心当たりはなく、身の回りのもの、荷物などいつもどおりであった。

### 松岡 伸矢さん



失踪年月  
平成元年 3 月 7 日  
失踪当時年齢  
4 歳  
失踪場所  
徳島県内

前日の 3 月 6 日に両親とともに、徳島県の祖母の葬式に出席し、親戚宅で就寝。翌朝、父と姉弟と近くを散歩し、散歩後、玄関から入ってこなかったため、すぐ玄関先に出たが、いなくなっていた。

警察・消防・地元市民による大規模な山狩りもしたが消息不明。また、平成元年 4 月の終わりか 5 月の終わりに徳島県海部郡日和佐町の弁天浜の岸壁で伸矢君によく似た子供を抱いて海を見ていた不審な男性を目撃したという情報がある。日和佐は北朝鮮の船が来航した港の 1 つ。

ほかにも数名おられます  
(資料提供：特定失踪者問題調査会)